

第21回

日本太鼓全国障害者大会

～心に響け「ドンドン」フェスティバル～



2019年 **10**月**6**日(日) 開場 11:30 開演 12:00

倉敷市玉島文化センター 〒713-8121 岡山県倉敷市玉島阿賀崎1丁目6-27

主催：  [公財] 日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

共催：社会福祉法人富岳会

主管：日本太鼓財団岡山県支部

後援：厚生労働省、文化庁、岡山県、岡山県教育委員会、倉敷市、倉敷市教育委員会、
社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人倉敷市文化振興財団、社会福祉法人旭川荘、
山陽新聞社、OHK 岡山放送

協賛： Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団

会長 松本 英昭



第21回日本太鼓全国障害者大会を開催するにあたり、たくさんの日本太鼓愛好者の方々にご来場をいただき、心から御礼申し上げます。

公益財団法人日本太鼓財団では、現在41都道府県に45支部を設立し、加盟団体数約700団体、会員総数約19,000人を数えております。

全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、健常者のみならず障害者の療育に効用があることが立証されており、社会福祉法人富岳会においては、40年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として太鼓を取り入れられております。本大会は1998年に、富岳会主催により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催された折、「是非とも数多くの障害者団体にも出演機会を」との声をいただき、その後当財団主催、富岳会共催として今年で21回目を数えます。

5年ごとに東京で開催する際は必ず皇后陛下(現：上皇后陛下)に行啓を賜り、昨年(第20回)大会には、天皇陛下(現：上皇陛下)に初めて行幸を賜りました。両陛下は出場者の一生懸命に太鼓を打つひたむきな姿に惜しめない拍手をお送りくださり、演奏後も温かいお言葉を掛けていただいた出場者と指導者は大変感激しておりました。

このような中、日本財団並びにボートレース関係者のご支援により、第21回日本太鼓全国障害者大会が開催できますことは誠に喜ばしいことでもあります。出場される団体の皆様には日頃の練習の成果を十分に発揮され、さらに日本太鼓を通じて全国の仲間との交流を図り、友好を深め、いつまでも胸に残る大会となりますことを期待いたします。

最後になりましたが、本開催にあたり多大なるご支援、ご協力をいただきました厚生労働省、文化庁、岡山県、倉敷市、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人旭川荘をはじめとする関係各位、共催の社会福祉法人富岳会、そして細部にわたりお世話いただきます主管団体の日本太鼓財団岡山県支部の皆様にご心から感謝いたしますとともに、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げご挨拶といたします。

ご 祝 辞

岡山県知事

伊原木 隆太



第21回日本太鼓全国障害者大会が、多数の方々のご参加のもと、本県において盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げますとともに、各地からお越しいただきました皆さまを心から歓迎いたします。

日本太鼓は、全国各地で音楽療育の一環として演奏されており、全身を使つての演奏は、体力づくりや団体演奏に必要なチームワークの醸成など心身の療育に有効だけでなく、障害のある方々の日常生活を豊かにするとともに、社会参加の機会を広げるものと思われま

す。さて、本県では、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現のため、「新晴れの国おかやま生き生きプラン」に基づき各種施策を推進しており、「障害のある人の自立と社会参加の促進」や「発達障害のある人のトータルライフ支援の推進」を重点施策に位置付け、障害者差別解消法を踏まえた「心」「情報」「物」の3つのバリアフリーや、「あいサポート運動」の推進、障害のある人の就労支援や障害福祉サービス基盤の整備などに積極的に取り組んでおります。

こうした中、全国各地の太鼓チームの皆さまが一堂に会し、奏でる太鼓の音は、その取り組みの推進に大きく響くものと考えております。

皆さまには、日頃の練習の成果を存分に発揮され、日本太鼓を通じて全国各地の仲間と交流を深めていただくとともに、思い出となる一日になることを願っております。

また、県外からお越しの皆さまには、この機会に、本県特産の大粒の種なしブドウ「ピオーネ」をはじめ「くだもの王国おかやま」の秋の味覚をご賞味いただくとともに、瀬戸内海や岡山後楽園、倉敷美観地区など豊かな自然や文化、歴史に触れていただき、本県の魅力を満喫していただければ幸いです。

結びに、今回の大会が、皆さまにとって実り多いものとなることを祈念いたしますとともに、参加された皆さまのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いのごことばといたします。

ご 祝 辞

倉敷市長

伊 東 香 織



「第 21 回日本太鼓全国障害者大会」が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

倉敷市は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた瀬戸内海に面し、東西に走る山陽道と四国から山陰地方へつながる南北の交通軸とが交差する、人口約 48 万人の中核市です。また、倉敷川沿いの白壁の町並みや日本最初の近代西洋美術館である大原美術館が佇む「美観地区」、良寛さんゆかりの玉島・円通寺界限など、年間約 500 万人が訪れる我が国有数の観光都市でございます。本日、全国から大変多くの皆様を本市にお迎えできますことを心より嬉しく存じます。

日本太鼓は、古来より神事や祭礼において重要な役割を担い、伝統芸能・民族芸能として郷土の特色を伝える伝統音楽であり、私たち日本人が世界に誇るものです。御出演の皆様におかれましては、これまでの練習成果を存分に発揮され、日本太鼓の素晴らしさや演奏の楽しさを表現していただき、また、御来場の皆様方におかれましては、渾身の演奏を最後まで御覧いただき、温かい声援と大きな拍手をお送りいただきたいと思います。

本市では、昨年 6 月に施行された「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」に基づき、国と連携を取りながら、障がいを持たれた方々の文化芸術活動を推進して参りたいと考えております。本大会における皆様方の活動は、同法の理念を体現したものであり、20 年以上の長きにわたり同活動を継続してこられました皆様方の御尽力に対し、あらためて敬意を表する次第です。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました公益財団法人日本太鼓財団、社会福祉法人富岳会をはじめとした関係者の皆様方に心より感謝を申し上げますとともに、本大会の御成功と本日御参加いただいております全ての皆様方の今後ますますの御活躍と御発展をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご挨拶

社会福祉法人 富岳会

理事長 山内 剛



本日、第21回日本太鼓全国障害者大会が、ここ岡山県倉敷市で開催されますことを、主催であります公益財団法人日本太鼓財団並びに主管の日本太鼓財団岡山県支部の皆様にご心より御礼申し上げます。また協賛をいただきます公益財団法人日本財団、そしてご後援をいただきました多くの団体の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

今年21回目を迎えます日本太鼓全国障害者大会。昨年の20回記念の東京大会では平成の時代の最後を飾るにふさわしく、天皇陛下(現:上皇陛下)のご臨席を賜ることが出来ました。あらためて継続することの大切さを感じる大会となりました。

そして今年の倉敷での大会は、昨年の洪水による大災害で予定をしていた会場も被害を受け、一時は開催も危ぶまれる事態に陥りました。しかし岡山県支部の皆様の不屈の魂のお陰で、今日のこの日を迎えることが出来たことは夢の様です。皆様から受けたご恩返しを本日は私たち出演者と関係者がする番です。

日本の太鼓の持つミュージックセラピーとスポーツセラピーの両面を兼ねそろえた独特の特性は様々な障害のある方々に受け入れられ、リハビリ、療育は勿論のこと障害者の社会参加、文化・芸術活動にまで広がりを見せています。本日は、北は東北、福島県から南は九州、大分県から29団体が参加して日ごろの稽古の成果を披露させていただきます。

ただ今から舞台上で繰り広げられます太鼓の演奏は、障害という壁を超越した魂の響きです。きっと観る人、聴く人に人間の計り知れない可能性を伝え、勇気と生きるパワーを与えてくれることでしょう。そして本日この会場にお越しくださいました皆様が、この感動を一人でも多くの人に伝えて頂けることを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

本日はご来場いただきまして誠にありがとうございます。

ご挨拶

日本太鼓財団 岡山県支部

支部長 山部 泰嗣



「第21回日本太鼓全国障害者大会」が岡山県倉敷市において開催されるにあたり、日本太鼓財団岡山県支部を代表し、全国からお越しいただいた出場者の皆様、本日もご来場いただきました皆様に心より歓迎申し上げます。

また、昨年発生いたしました「平成30年7月西日本豪雨」に際しまして、全国の太鼓団体の皆様より温かい励ましと貴重なご支援を賜り深く感謝申し上げます。

岡山県支部では、2015年に開催いたしました「第15回日本太鼓全国フェスティバル」を契機に、日本太鼓支部講習会や岡山県日本太鼓フェスティバル等の事業を開催し、日本太鼓の普及と発展及び次世代を担うジュニアの健全育成に力を入れております。2021年3月には、ここ倉敷の地で「第23回日本太鼓ジュニアコンクール」の開催を予定しております。

日本太鼓は、老若男女、障害の有無等、国籍を問わず益々多くの方々に愛好されております。本日、出場される皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮して、全国の仲間と交流を深めていただくとともに、皆様の心にも大きく響く一日となることを願っております。また、ご来場いただきました皆様には、今大会に向けて努力された成果をご覧いただき、太鼓の素晴らしさを一人でも多くの方々に感じていただければ幸いです。

結びに、開催にあたりご支援、ご協力いただきました岡山県、倉敷市など多くの関係団体、運営に携わっていただいたスタッフの皆様にご心から感謝申し上げますとともに、ご来場の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

第21回日本太鼓全国障害者大会プログラム

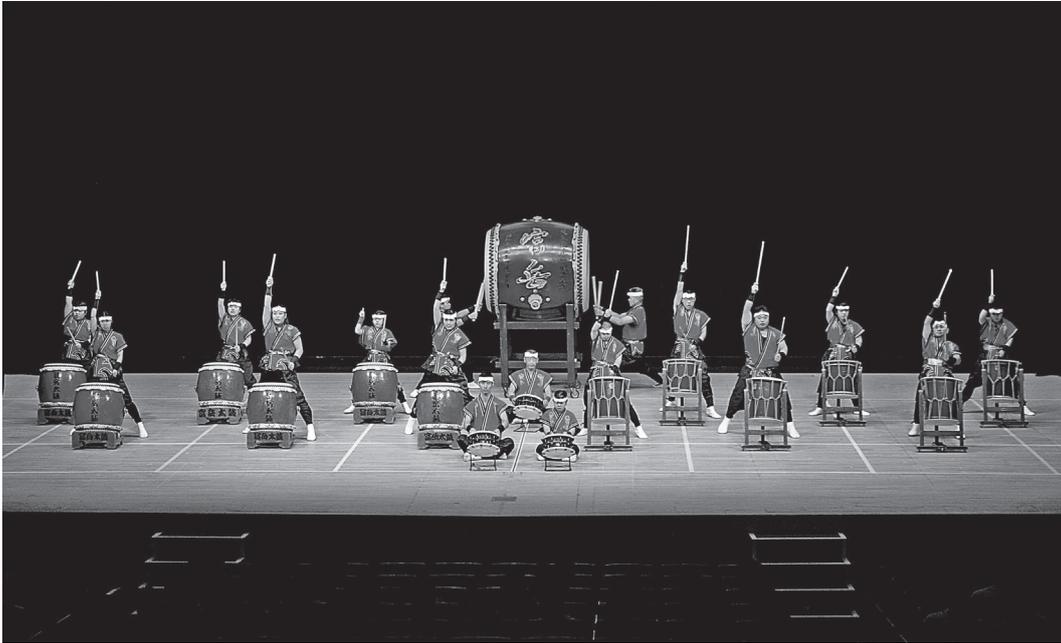
～心に響け「ドンドン」フェスティバル～

■ 開会式

■ 演 奏

1. 富岳太鼓 竜神組 (静岡県)
Fugaku Taiko "Ryujin-kumi" from Shizuoka
2. 甲州ろうあ太鼓 (山梨県)
Koshu Roa Taiko from Yamanashi
3. 鼓友夢光組 (富山県)
Koyu "Nozomi-kumi" from Toyama
4. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」 (大阪府)
Toyonaka Deaf Taiko Club "Kobiki" from Osaka
5. 石川県立明和特別支援学校「龍剣太鼓」OB会 (石川県)
Meiwa Special Support School "Ryuken Taiko" Graduates from Ishikawa
6. 甲斐乃和太鼓 心響会 (山梨県)
Kai-no-Wadaiko "Shinkyo-kai" from Yamanashi
7. やまびこ太鼓 (福島県)
Yamabiko Taiko from Fukushima
8. 縄樂座 (千葉県)
Joraku-za from Chiba
9. 神戸ろう太鼓集団 鼓神 (兵庫県)
Kobe Deaf Taiko Group "Koshin" from Hyogo
10. 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム (静岡県)
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Hamamatsu Challenge Team from Shizuoka
11. 播州ろう 龍姫太鼓集団 鼓鼓呂 (兵庫県)
Banshu Ryuhime Deaf Taiko Group "Kokoro" from Hyogo
12. ファミリーユニット童鼓 (岐阜県)
Family Unit "Dokko" from Gifu
13. 与謝の海ぶちあわせ太鼓 (京都府)
Yosa-no-umi Buchiawase Taiko from Kyoto
14. 特定非営利活動法人 はばたけ手をつなぐ育成会「はばたけ鼓心」 (兵庫県)
Habatake Kokoro from Hyogo
15. にこにこ青年講座 風のひびき (静岡県)
Kaze-no-hibiki from Shizuoka

-
16. 社会福祉法人 同朋福祉会 あそかの園 同朋太鼓 (山口県)
Asokanosono "Doho Taiko" from Yamaguchi
 17. ラーフ太鼓 楽鼓舞 (兵庫県)
Laugh Taiko Rakkomai from Hyogo
 18. 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム (静岡県)
Kanaya Oigawa Kawagoshi Taiko Challenge Team from Shizuoka
 19. 公益社団法人 東京都聴覚障害者連盟 事業部 (東京都)
大江戸助六流東京ろう者和太鼓倶楽部「鼓友会」
Tokyo Deaf Taiko Club "Koyu-kai" from Tokyo
 20. 神戸なかよし太鼓 (兵庫県)
Kobe Nakayoshi Taiko from Hyogo
 21. 大分県糸口学園 糸口太鼓 (大分県)
Itoguchi Taiko from Oita
 22. ひとみ太鼓 (兵庫県)
Hitomi Taiko from Hyogo
 23. なごみ太鼓喜楽 (静岡県)
Nagomi Taiko "Kiraku" from Shizuoka
 24. 京都 和太鼓 龍船 昴 (京都府)
Wadaiko Ronsyun "Subaru" from Kyoto
 25. 恵那のまつり太鼓 (岐阜県)
Ena-no-matsuri Taiko from Gifu
 26. アゴラ太鼓 (奈良県)
Agora Taiko from Nara
 27. 伊豆医療福祉センター どんつく (静岡県)
Izu Medical Welfare Center "Dontsuku" from Shizuoka
 28. 清光会 和太鼓 韻 (大阪府)
Seiko-kai Wadaiko "Hibiki" from Osaka
 29. NPO 法人太鼓の楽校 太鼓一家 (徳島県)
NPO Taiko School "Taiko Family" from Tokushima



富岳太鼓は、日本一の霊峰富士の麓、静岡県御殿場市に所在します。設立のきっかけは1977年、社会福祉法人富岳会会長山内令子が、法人の施設を利用する知的障がい者のセラピーとして、和太鼓に着目したことから始まりました。富岳太鼓は魂を揺さぶる「響き」、鼓動と同調する「リズム」、感情を全身で表現する「躍動」、共に打ち込む「喜び」など、打てば響く太鼓の持つ秘めたる可能性を、独自に開発した和太鼓療育プログラムに効果的に取り入れ、知的障がい者のセラピーとして実践しています。そしてその効果は心身多方面に表れ、今では障がい者のリハビリテーションや社会自立のトレーニングとしては勿論のこと、障がい者の文化・芸術活動にまで広がりを見せ、広く海外からも注目を集めています。

富岳太鼓の富岳とは富士山の別名であり、その名の通り、演奏する曲の総てが富士山にまつわる神話、民謡、自然をテーマとしたものであり、富岳太鼓代表山内強嗣の手によるオリジナルの創作太鼓です。

代表者 山内 強嗣

早野 均 野田 幸宏 山内 和紀 石原 純 久保田真喜 宮野 由仮
三橋 磨美 竜田奈津美 高森 春香 小林 依愛 勝俣 宏祐 芹澤 加奈
芹澤 里奈 小松 清泉



音の無い世界にいる私達が“音の世界と関わりたい、音楽を楽しみたい”その思いで昭和56年1月に結成し、今年で38年になりました。

“聞こえないからできない”ではなく、“聞こえなくてもやればできる！”と聴覚障害者を中心に活動を展開してきました。

当初、南アルプス市の甲州遠光太鼓保存会から指導を受け、平成になって長野県の御諏訪太鼓から教える機会に恵まれました。現在、私達の可能性、技術の限界を極めるために随時、プロの前田タクヤ先生の指導を受けながらレパートリーのスキル向上に取り組んでいます。

太鼓演奏だけでなく福祉に関する演奏依頼を賜り、聴覚障害者たちの生活について、コミュニケーション方法の一つである手話を広めながら聴覚障害者による音楽活動の啓発活動を行って行く所存です。幾多の困難を乗り越え、多くの方々への感謝を胸に日本の伝統芸能の一翼を担うという、ほんの僅かな自負心を持ちながらこれからも更なる飛躍を目指して頑張りたいと思っています。

代表者 井上 直光

長田 和久 山口 龍太 山口 優子 山口 心陽 山口 新太



私たち、鼓友夢光組は、2003年に、富山県立となみ総合支援学校和太鼓クラブの卒業生とその父母で結成されました。その後も少しずつメンバーが増え、どんどんにぎやかになりました。現在は、となみ総合支援学校や地元の小学校の体育館等を利用して、月3回有澤先生と杉浦先生に楽しく指導いただき練習をしています。そして年間を通して地域の祭りやイベントにも参加し演奏しています。

この全国大会には、2006年の大会から毎年参加しています。今年は久しぶりに「来楽」を演奏します、聞いてください。

代表者 水口奈保子

有澤	清治	杉浦さちえ	澤村	優花	澤村	孝子	法嶋	健太	法嶋三津子
奥野	康博	奥野千栄子	池田	林平	池田	洋子	秋本	達也	秋本 秋美
高橋	大康	高橋 輝子	増岡	涼	増岡	靖子	吉岡	奨平	吉岡 浩美
河原	雅康	河原吏永子	加藤	翔太	加藤	博子	高崎	靖子	高崎真貴子
池田	優太	池田 好子	瀬川	智子	俵	千春	俵	順子	



平成3年11月10日、豊中市身体障害者福祉会創立40周年記念大会のアトラクションとして和太鼓を叩いたのがきっかけで、正式な発足は平成4年5月になります。

平成7年3月に豊中ろう和太鼓クラブ「ひまわり」から「鼓響」と改称し、現在に至っております。

「鼓響」とは音のない世界にいる者にも、響きが音として体に伝わってくるという意味でつけました。

響きを体で感じ演奏するという非常に限られた音楽表現ですが、聞こえないから出来ないのではなく、聞こえなくても努力すれば出来るという事を知って頂きたいのです。

練習は健聴者の方々の数倍、数十倍もの時間がかかります。集中力と体力勝負ですが、一つの事をやり遂げたいその思いと、日本の伝統芸能である和太鼓を一人でも多くの人に楽しんでもらえるよう、これからも練習に励んでいきます。

代表者 宮田千恵子

坂本 善美 木村 英治 藤原 幹男 川本 進 本出 典子



私達「龍剣太鼓」は、太鼓が大好きで学校を卒業しても太鼓を続けたいと、石川県立明和特別支援学校和太鼓部のOB会として平成24年に発足しました。過去本大会参加9回のうち、現役和太鼓部員・OB会の合同チームでの参加は7回、OB会のみでの参加は2回目になります。

私達OB会は、毎年6月に開催される来場者40万人を超える「金沢百万石祭り」のオープニングセレモニー、270人の太鼓演奏にも参加しています。

今大会は全国の仲間の素晴らしい演奏を聞きたい、また大会に参加して自分達の演奏も聞いてもらいたいと、安江信寿先生の熱いご指導を受けてこの日の為に練習に励んできました。

今日は皆で気持ちを1つにして「一生懸命！元気よく！」演奏したいと思います。

代表者 伊藤 明子

若林 美香 林 芳樹 伊藤 祐介 小室 駿 米田 優一 小林 源大
 谷中 天紀 中田麻莉愛



平成 27 年 6 月に立ち上げて 4 年になる「甲斐乃和太鼓心響会」という新米チームです。障害者と健常者がお互いに助け合い、チームワークを大事にしながら和太鼓のノーマライゼーションを目指して活動しております。

名前の通り聞く人たちの心に響くような太鼓が打てるようにと、日々練習に精を出しております。

心に響く太鼓が打てるのはいつの日になるのかと、夢だけは大きく持って毎週土曜日の練習に励んでおります。

日本太鼓全国障害者大会は、昨年の東京大会に続いて 2 回目の参加となります、全国の皆さんどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

代表者 小野 智弘

杉山 悠美 齊藤 里恵 齊藤三輝成 狐塚 亮 山地 隆公 神田 弘樹



私達「やまびこ太鼓」は、福島県郡山市で平成十一年に結成した親子で活動しているチームです。

「仲間と一緒に大好きな太鼓を楽しむ！」を合言葉に毎週土曜日に練習しています。音を合わせる・強弱をつける等々、なかなか思うようにいきませんが、地域のイベントなどで練習の成果を発表する機会も多くなり、子供たちの自信につながっています。

全国障害者大会は、私達のメイン・イベントとなり、今年で十六回目の参加となります。心をひとつにして、「やまびこ太鼓」の元気とやる気を皆さんにお届けしたいと思います。よろしくお願ひします。

代表者 三瓶 律子

三瓶沙弥香	吉田 輝	吉田 久恵	佐藤日出海	佐藤 京子	室井亜理沙
室井春美恵	遠藤 正樹	遠藤トミ子	阿久津陽介	阿久津恵子	佐藤 亮太
佐藤 真弓	河治 勇志	河治美代子	根本 樹	根本 裕子	石田 洋人
石田奈緒子	武田 悠真	武田 淳子	後藤 拓人	後藤 真弓	深江 恵子



創作芸能 縄樂座は、千葉県香取市に2003年に発足し、町の風物詩として、お正月の獅子舞門付け、施設慰問、子ども教室等、神楽・獅子舞・太鼓を通して積極的な活動を行って来ました。16年の歳月は、地域文化の存在意義を学ぶ貴重な機会でもあり、活動の中に様々な要素が含まれております。2008年から、文化と福祉プロジェクトとして、難病・認知症・小児癌・障害児等をテーマにした活動にも力を注ぎ、2011年東日本大震災で被災した地元や東北へも積極的に文化交流支援を行って参りました。平成から令和元年、これからも縄樂座は、障害の有無は関係なしに、技と精神を学び、伝統芸能の魅力を伝えて行きたいと考えております。

代表者 松井 敏昭

葉木 佑佳 葉木 良彦 林 駿樹 林 純子 青柳 泰介 星野 豊和
高木美知子 曳地 君子 曳地 修 大屋 千鶴 秋葉 博之 秋葉 晴美
秋葉 大和 星野 里美



2003年4月聴覚障害者を中心に結成。和太鼓部とエイサー部があります。

神戸市でボランティア団体として登録し、高齢者施設などで演奏活動しながら聴覚障害者団体のイベントや一般公募のイベントにも積極的に参加しています。

かねてから神戸の地で聴覚障害者の太鼓の会を作りたいという夢がありました。それで、太鼓の好きな仲間が集まってスタートしました。以来、「聞こえなくてもやればできる」「あきらめない」を合言葉に頑張っています。

聞こえなくてもいろいろ工夫して自分なりの演奏を心がけています。また、太鼓の響きを体で感じながら、演奏を楽しむという事も大切だと思っています。

日々、試行錯誤ですがハンデに甘えることなく、常に上を目指すことを忘れないで練習を重ねていきます。

代表者 岡崎 隆吾

北川 光雄 藤田美佐子 水野 洋子



私たち、浜松チャレンジチームは、平成21年5月に障がいを持つ子とその親で結成を
 しました。全国大会への参加は、今年で9回目となります。

金谷大井川川越し太鼓の和田先生をはじめ、小玉先生と塚田先生に、月1～2回、浜松
 までお越しいただき、公民館を借りて練習をしています。

地元で行われているコンサートや金谷大井川川越し太鼓の皆さまとチャリティコン
 サートに参加させていただき、楽しく元気に演奏をしています。

今日も一生懸命、演奏いたします。よろしくお願いいたします。

代表者 斎藤 寿見

斎藤 悠希 斎藤 香織 横田 良子 横田 貴子 佐藤 佑紀 佐藤千佳代
 松浦 光 松浦真由美 三原まゆみ 三原 京子



平成5年12月に、日本で初の世界文化遺産となった姫路城のふもとを中心に活動をしています。

市鳥であるシラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれている姫路城は、我が街の誇りです。

1997年(平成9年)に「龍姫太鼓」として結成。

2003年(平成15年)、「鼓鼓呂」と改名。

「鼓鼓呂(こころ)」…太鼓と太鼓、そしてお互いの口の動きを見ながら、体の動きと心を通じ合わせるという意味を込めたものです。

聴覚のハンディを克服する為、バチの早さを目で確かめたり、太鼓の振動を体で感じたりしながら、時間をかけてメンバー全員で音を一つにまとめています。

「明るく、元気よく、笑いと感動を！」をモットーに、メンバー全員一丸となって頑張ります。

代表者 金澤 利至

金澤 静 松田 有紀 松田龍太郎 宮崎 優美



私達「ファミリーユニット童鼓」は障がいを持つ子どもたちと、その親により和太鼓の演奏をしているグループです。子ども達に太鼓の楽しさを教え、人前で堂々と発表できる子どもに育てる趣旨で結成されました。

障がいを持つ子どもたちとその家族が、力をあわせてひとつになり、そしてそれぞれの家族が、重要な役割をもち、すなわち「ファミリーユニット」となってこの演奏活動を行っております。

太鼓の練習を継続することにより子どもたちは、太鼓の技だけではなく、がんばれる力、集中力、そして人を思いやる心も育ちます。

また、たくさんの発表の場を経験することにより、もっと上手になりたいという向上心、やり遂げた達成感、それらすべてが、子どもたちの自信につながっています。

子ども達も成人した今後も、変わらず元気に活動していきたいと思っています。

代表者 児島 和夫

奥村 杏里 奥村 千鶴 川口 舞 川口 清美 河田 浩貴 河田 厚子
 児島 康寛 児島 秀美 高橋 秀徳 高橋 貴子 中島 寛文 中島 幸子
 渡邊 史浩 渡邊 朋子



私たちの通う与謝の海支援学校の寄宿舎は、京都府北部にある日本三景の一つ、「天橋立」を一望できる場所に建っています。

「与謝の海ぶちあわせ太鼓」のメンバーは、寄宿舎で日々ともに生活している仲間で作成し、活動しています。

毎年、7月に寄宿舎と地域と共同で取り組んでいる夏まつりのフィナーレで披露しています。その他にも、地域の祭りなどで披露する機会をいただいています。

今回は、今年で創立50周年を迎える与謝の海支援学校寄宿舎で、30年前からたたき続け、受け継いできた「ぶちあわせ太鼓」を披露します。

今年初めて太鼓をたたく仲間を経験豊富な仲間が支えながら、練習をしてきました。今日は全員で気持ちを一つにして力いっぱいたたきます。よろしくお願いします。

代表者 池永 亨

宇野 友規 太下 優大 上林 和葉 坂戸 佑丞 岩本 未結 大西 峻希
平井 歩 池田 琉輝 辻 志音 奥池 健人



和太鼓チームはばたけ「鼓心」は、2009年^{こころ}から活動を始め、今年で10年目を迎えました。A・Bの2チームで構成しています。重い障害を持つAチームのメンバーは、一定のリズムや曲が打てるわけではありませんが、ようやくみんなが揃って打ち始め・打ち終わりが出来るようになりました。Bチームは、個性豊かにそれぞれの思いを、元気いっぱい太鼓に響かせます。

元気に、楽しく、真剣に！！

週2回の自主練習と、月2回は外部から講師を招いて指導していただき、太鼓練習に取り組んでいます。

メンバーはいろいろな障がいを持ち、それ故に困難もたくさんありますが、みんな和太鼓が大好きで、生き生きと練習しています。

大きなステージでの演奏に慣れているわけではありませんが、いつものように、和太鼓の音や響、打った時の皮の感触、みんなとの一体感など、感じながら楽しんで演奏できればと思います。

代表者 中井佳与子

池森 明子	石原 浩平	今井眞矢子	中井 康仁	藤原 匠吾	木瀬三保子
笠浪 真代	小寺 晶子	品川 健一	都外川敬洋	西川 輝之	三田 良平
宮下真希子	村尾 雄一	山西 和昭	和田 恵吾	和田 隆寛	北村 嘉章



私達の母体は知的に障害のある人たちの自立を目的とした生涯学習の余暇支援の一貫で行っている「にこにこ青年講座」のクラブ活動として、平成14年8月に発足しました。

当初は上手になる事が目的でなく、余暇の居場所づくりと体力の保持、太鼓を叩く事によって考える力、脳の活性化、心の癒しを目的としての「音楽療法」として始めました。

セッションとしての練習を重ねる事によって、結果として上手に打てるようになる事で、自分に自信が付き普段の生活の中で役立つ事を目的としています。

しかし、練習だけでは自分の技術の向上が確認できないという意見が出てきましたので地域や障害者団体のイベントや県の芸術祭、チャリティー、地域のお祭り等に年に5回位の発表を行っています。

又一昨年より地域のお祭りでの舞台演奏の依頼がありました。この事は私達の活動が地域の中で根付いて来てこれからの活動の励みになります。

今後も、その評価によって自分自身に自信を持ち、障害に負けない充実した生活が送れたら良いと思っています。

代表者 芝 安司

芝 晴美 川本 久子 川本浩太郎 小林眞里子 小林 秀夫 田中 才洋
山本奈千子 福世 泰子 若味 香苗 若味 理絵 若味 一秀



平成16年4月より、「あそかの園 同朋太鼓」は利用者療育支援の音楽療法として、活動を開始し今年で結成15年目となりました。

毎年、新しい曲を作って習得に励む中で法人の行事や地域、市内外のイベントにも出演させていただき、少しずつですが自信をつけ上達してきました。そして、その都度地域の方々とふれあい、交流を重ねる中で応援をもらえることに利用者、職員共々喜び合っています。

またこの春から、私たちの活動を通じて太鼓を知り、練習に参加してくれた方を新しいメンバーとして迎えることができました。音楽療法の側面以上に、人と人とを繋ぐ大切な役割も担ってきたのだと実感しています。多くの方との出逢いに感謝し、心を込めて元気いっぱい演奏します。

代表者 河内 美舟

加藤 正明 山本佳葉子 弘永 勝也 天上 睦月 五十嵐久恵 安尾 好史
 片岡 悟 金子 貴成 島田 貴晃 佐藤 仁美 栗光恵美子 先本 理絵
 松本 清美 利重 俊吏



世界文化遺産 姫路城にある姫路を中心に活動しています。

ラーフウッド作業所で働いている、知的障害のある3人からスタートし、播州ろう龍姫太鼓集団 鼓鼓呂から太鼓を学び、現在メンバーが9人います。

2016年(平成28年)11月に、鼓鼓呂代表から“舞いながら太鼓を楽しむ”ということで、「楽鼓舞」と名付けられました。今、鼓鼓呂メンバーと共に太鼓の練習を頑張っています。

明るく、いつも仲良し、楽鼓舞のメンバーが1つの気持ちを持って、頑張りたいと思っています。

代表者 金澤 利至

一宮 愛 上野 智暁 岡地健志郎 小林愛里沙 清水 俊希 隅田 賢吾

田中 真伍 山口 蛍 金澤 静 松田 有紀 宮崎 優美



私達チャレンジチームは平成10年に産声をあげ今年で20年目となります。初めは少ない人数から始まり、今では30人とふくれあがりました。入門した子供達が小学生となり、中学生となり、又社会人となりそれぞれがんばっています。チャレンジチームもやっと軌道にのったかな、と思います。手さぐりで始めたチャレンジも一曲一曲とおぼえて、今6曲目になりました。スタッフが覚えやすいような曲をつくり、皆でがんばっています。

メンバーの一人は、太鼓貸してと言って、親と一緒に一人で太鼓演奏に行くまでに成長してくれました。これからも多くの友達をつくり楽しい太鼓をたたいて何にでもチャレンジしていきます。皆様よろしくお願ひします。

代表者 和田 光則

酒井 勝則 酒井 光枝 増田 芳宏 園田 康貴 武田ひろみ 塚田 利恵
 小玉恵美子 原田慎太郎 斎藤 悠希 荻原 学 森本 絵里 牧野ふみよ
 松本 正人



1983年、日本チャリティ協会の方から和太鼓を演奏してみないかと、社団法人東京都聴覚障害者連盟に話が持ち込まれたことをきっかけに、「社団法人東京都聴覚障害者連盟文化部／東京ろう者和太鼓倶楽部」が発足。

1984年、プロ団体大江戸助六太鼓に入門。同年8月、聴覚障害者の組として耳が聞こえなくても身体で響きを感じて「太鼓は心で聴いて心で打て」と、宗家より、大江戸助六流「鼓心会」と名を頂く。

入門して以来、メンバー5～8名が太鼓稽古をして舞台上で発表できるまで育つ。

2005年3月、聴覚障害者の組「鼓心会」解散。

2008年4月、「鼓友会」に改名。

「大江戸助六流」の太鼓を打ち続けたいという心構えに、宗家小林正道氏が再度、愛の(ムチ)を打つ事になる。

少数の太鼓に対する思い入れをひとつの心にする為に「鼓友会」として再出発。

2019年で結成36周年目。新たにろう者による音楽活動の啓蒙を中心に多くの人達へ、ろう者の太鼓演奏をみていただくこと尚且つ交流会を中心に活動している。現在はメンバーの減少により、ままならない事もあるが、宗家より師事いただいた伝統打法を大切に今後とも伝え続けて行きたいと思う所存である。

代表者 加藤智差子

山口 龍太



神戸なかよし太鼓は、神戸市全域より集まり、月2回の練習に励んでいます。メンバー一人一人それぞれの障害がありますが、一年を通して数多くのイベントには、希望と勇気をそして笑顔をモットーに出演しています。

節目には記念コンサートを開催しています。一昨年には結成25周年記念コンサート開催、次回は30周年に向かっていきます。

阪神淡路の震災を乗り越え、人の温かさを忘れない為にも、私達は指導者、三浦先生に作って頂いた「絆」を合言葉に今日に至っています。

これからも感謝を忘れず活動をしてまいります。

代表者 針池 敏男

上條 博文	高本賢太郎	竹内 宏子	谷口 義明	谷本 昇太	徳山 恭
中野 智子	谷口 弘江	針池 一男	広島 隆志	森 弘祐	吉田 真理
大谷美千代	中野美佐子	三浦 清三	藤田 命男	上條 芳美	高本竜太郎
竹内恵美子	谷口 悦子	谷本 陽子	徳山麻紀子	谷口 敦子	針池スミ子
広島 綾子	森 理恵子	吉田 絹代	谷本 好祐	岩田真佐子	



「糸口太鼓」は、大分県宇佐市にある大分県社会福祉事業団「大分県糸口学園」の利用者で結成した和太鼓チームです。当園では、運営方針の中の特性を伸ばす支援の一環として、「伸びる芽を育てよう」を合い言葉に、文化活動として和太鼓、スポーツ活動として陸上に取り組んでいます。

1994年に発足し、お陰様で昨年結成25周年を迎えることができました。多くの方からの応援を受けることがメンバーの自信につながり、明日への糧となっています。

演奏する曲目は、「軌跡^{きせき}」です。

一打一打に心を込めた力強い演奏をご覧ください。

代表者 加藤るり子

出場者7名



兵庫県三田市を拠点として、2011年6月に視覚障害者で構成する「ひとみ太鼓」を結成致しました。

「太鼓をたたきたい」の思いから始まり8年の月日が流れました。決して楽な道ではありませんでしたが、みんなで力をあわせて乗り越えてきました。太鼓の練習は厳しいですが、好きな太鼓に心置きなく向き合ってきた事は、幸せな時間でもあったと思います。教えられる事、考えさせられる事も沢山ありました。また目が見えなくて見える事もたくさん経験しました。

現在は、「ひとみ太鼓」として、「目の日のつどい」、「地域の夏祭り」、「慰問等のボランティア活動」、また「日本太鼓全国障害者大会」も経験をして幅広く活動をしています。

視覚障害者でも力強い演奏ができることを観てください。

代表者 西岡 良子

西岡 繁雄 田中 徹 山口 義照 小谷 信彦



なごみ太鼓喜楽は、静岡県伊豆市の障害をもった仲間とその家族で結成し、活動を続けて11年目になりました。

初めは、「ほんの少しでも太鼓が叩ければ!」とっていたので、全国大会へ出場するなどとは考えてもみませんでした。

しかし、堀江師匠の元、少しずつ太鼓が叩けるようになると、自分たちが叩く楽しみだけでなく、皆さんに披露する喜びを持つようになりました。まさに、なごみ太鼓“喜楽”の名前の通りです。

今年1月には、地元のホールにて、「10年の響き“未来に^{はばた}翔け”なごみ太鼓喜楽10年公演」を開催することができました。会場には、たくさんの方々が出来てくれました。本当にありがたいことです。

これまでご支援いただいた皆様に、感謝の気持ちを忘れず、これからも一步一步前進して頑張っていきたいと思っています。

全国大会は今回が7回目で、毎年の積み重ねが少しずつ成果あるように、一生懸命演奏したいと思います。

代表者 田足井みさ子

堀江 利彰 森野 敦子 森野 和仁 城所 芳子 田足井順基



1989年6月に発足した和太鼓龍船の小組として2002年昂が誕生しました。和太鼓の大きな音にびっくりで最初はタンバリンを使って音楽に合わせて楽しくリズムを打っていました。が、ある日バチを持ち太鼓を打ち始めました。個人レッスンから始めた昂もメンバーの入れ替えはありますが、現在8名が所属しています。リズムを理解しやすい言葉に置き換え練習に励んでいます。彼らの一生懸命打っている姿は誇らしげで輝いています。

代表者 田中 容子

高台 拓馬 松尾ういな 松浦 一真 井上 翔麻 梅垣かすみ 渡邊 愛里



恵那のまつり太鼓は、平成元年に3名の職員が静岡県にある富岳太鼓さんに太鼓を学び、二寸一尺の太鼓と孟宗竹からスタートしました。

障がい者支援事業所の利用者・スタッフで構成され、現在レギュラーメンバーは、利用者さん14名と職員5名です。主に、施設の行事や地域のお祭り、県内外のイベント、障がい者太鼓大会などに参加しています。その他、太鼓クラブとして重度の障がいの方を含め太鼓好きの12名が昼休みなどを利用して練習を行っています。

リズムや打ち方を打ちやすくアレンジしていますが、身に着くには時間がかかり、作業後の時間を使って繰り返し何度も練習をしています。大変な事もありますが、その分、やりがいや達成感があります。楽しむ気持ちと一生懸命打つ気持ちで演奏しています。

代表者 小坂 孫次

安藤 恵一 安藤 利夫 井口 恵一 伊佐地 工 伊東 鉄也 伊藤 佳央
大黒 純也 後藤 健治 武川 勝則 春田 信也 吉村 健 古田 浩史
田中 里美 長尾 和子 酒井 薫 八澤 正弘 外山 和紀 西尾美乃里
山内 成倫



「アゴラ太鼓」は1995年アゴラ音楽教室に通っている知的障がいを持つ子どもたち、その家族と共に結成した和太鼓チームです。アゴラというのはギリシア語で人々が集まる広場という意味です。結成以来奈良市立富雄北小学校の一室をお借りして毎週土曜日の午後練習をしています。最初の2年間は古タイヤで練習、それから少しずつ太鼓を購入し、ようやく全員が同時に練習できるだけの太鼓が揃いました。ふだんはメンバーの実力に合わせて作曲した曲を中心に、時には三宅太鼓や秩父屋台囃子など伝統的な曲にも挑戦しています。現在メンバーは初心者チームを合わせて13名、そこにお母さんたちも参加して市の行事や地域のイベントなどでも演奏する機会が多くなりました。

代表者 水野恵理子

伊藤 友貴 柴田奈津子 菅原 啓 田野 杏佳 中村 将人 山本 泰滋
吉田 育太 伊藤 雅子 菅原喜美子 吉田久美子 長谷川真澄



どんつくは、世界遺産の一つにあげられる韮山反射炉のある伊豆の国市を拠点に活動しています。

20余年前、当時、肢体不自由児施設だった旧伊豆療護園の入所児の「たいこやりたい」の声で、余暇時間の活動として始まりました。入所している児、卒業したOB、太鼓に興味を持った外来の児者で活動を広げ、今日に至っています。

近年は、重症心身障害児者の施設 伊豆医療福祉センターとして種別変更された関係で、外部のメンバー中心で地元の演奏活動を行っていますが、入所者の中には、何年もの時を経て、演奏を習得した者もいます。積み重ねが一つのリズムになっていく様に日々感動します。

今日は、メンバーの一人 淳樹が、作調した「青嵐」を演奏します。少ない人数ですが、メンバー代表として頑張ります。

代表者 渡邊 誠司

小林 悠太 谷口 蓮 小池健太郎 森 祐子



清光会和太鼓韻は、平成11年に結成されるまで、1台の和太鼓と数本の竹太鼓で余暇活動の一環として取り組んでいました。

代表が大学時代に聴覚障害の方の家庭教師をしていた時、音楽の評価が「1」。話を聞くと「宿題を提出していないから」との事。これに疑問をもった代表は、たとえ聞こえなくても、身体の芯に音を感じる事ができれば！と考え和太鼓と触れ合う機会を作ったそうです。その生徒が初めて、和太鼓の響きを体で感じた時の驚きの顔を忘れず、韻のスタートになっています。

現在は地元に限らず、全国各種イベントにて和太鼓演奏を披露し「和太鼓の一打一打にまごころ込めて 生きる喜び 伝えたい」をテーマに活動しています。

代表者 柴沼 廣

南 昌和 福嶋 博 三輪 忠正 山田 大樹 本田 秀樹 横山 智幸
中野 匡 阪上 翔 土井 啓司 澤田 朋子 倉澤 威 今村 友哉
松田 好美 南河 真依 阪上 繁樹



「誰もが、太鼓を楽しく！」というノーマライゼーションの理念に基づき純粋な気持ちをより多くの方に伝え、阿波の伝統芸能阿波踊りの文化を大切にして「日本の心」を広めていくことを目的として、年齢や障害の有無に関係なく、老若男女太鼓を楽しんで頂けるような環境作りに取り組んでいます。NPO 法人太鼓の楽校は 2012 年に法人格を取得し活動母体となる「太鼓一家」が中心となり、演奏活動や、太鼓の指導、知的障害者のチーム作り、ワークショップの開催、障害者支援、社会福祉、指導、講師派遣など、徳島県吉野川市を中心に様々な活動をしています。

代表者 中西 渉

成田 義之 大崎 訓子 新開 宥斗 新開 皇介 下藤 大輝 岡田 聡真
 安田 心 岩本さとる 武田 悠河 前田 憲二 木下 弘貴 八木 健太
 中野 美咲 瀧川 僚 岡田 貴仁 岡田 利恵

日本太鼓全国障害者大会開催実績

第1回日本太鼓全国障害者大会

日時：1999年 7月25日(日)

場所：静岡県コンベンション・アーツセンター・グランシップ(静岡県静岡市)

出場団体：13団体 観客数：1,000名

第2回日本太鼓全国障害者大会

日時：2000年 6月17日(土) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出場団体：14団体 観客数：1,000名

第3回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年 1月20日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出場団体：19団体 観客数：1,000名

第4回日本太鼓全国障害者大会

日時：2002年 9月22日(日) 場所：恵那文化センター(岐阜県恵那市)

出場団体：17団体 観客数：1,000名

第5回日本太鼓全国障害者大会

日時：2003年 9月 6日(土) 場所：青山劇場(東京都渋谷区)

出場団体：18団体 観客数：1,200名

第6回日本太鼓全国障害者大会

日時：2004年10月 3日(土) 場所：諏訪市文化センター(長野県諏訪市)

出場団体：21団体 観客数：1,000名

第7回日本太鼓全国障害者大会

日時：2005年10月30日(日) 場所：ギャラリーかめおか(京都府亀岡市)

出場団体：22団体 観客数：1,000名

第8回日本太鼓全国障害者大会

日時：2006年 9月10日(日) 場所：郡山市民文化センター(福島県郡山市)

出場団体：19団体 観客数：1,000名

第9回日本太鼓全国障害者大会

日時：2007年10月 7日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

出場団体：25団体 観客数：1,300名

第10回日本太鼓全国障害者大会

日時：2008年10月 5日(日) 場所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)

出場団体：26団体 観客数：1,000名

第11回日本太鼓全国障害者大会

日時：2009年10月18日(日) 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)
出場団体：24団体 観客数：800名

第12回日本太鼓全国障害者大会

日時：2010年10月17日(日) 場所：フィットネスハウス・アリーナ(千葉県成田市)
出場団体：29団体 観客数：1,000名

第13回日本太鼓全国障害者大会

日時：2011年10月16日(日) 場所：郷の音ホール(兵庫県三田市)
出場団体：28団体 観客数：1,000名

第14回日本太鼓全国障害者大会

日時：2012年10月21日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
出場団体：28団体 観客数：1,000名

第15回日本太鼓全国障害者大会

日時：2013年10月6日(日) 場所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)
出場団体：35団体 観客数：1,100名

第16回日本太鼓全国障害者大会

日時：2014年10月5日(日) 場所：大東市立総合文化センター(大阪府大東市)
出場団体：34団体 観客数：1,100名

第17回日本太鼓全国障害者大会

日時：2015年10月4日(日) 場所：石川県こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)
出場団体：26団体 観客数：800名

第18回日本太鼓全国障害者大会

日時：2016年10月2日(日) 場所：大垣市民会館(岐阜県大垣市)
出場団体：27団体 観客数：800名

第19回日本太鼓全国障害者大会

日時：2017年10月1日(日) 場所：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
出場団体：27団体 観客数：1,000名

第20回日本太鼓全国障害者大会

日時：2018年10月7日(日) 場所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)
出場団体：30団体 観客数：900名

2019年度の事業活動予定

■第23回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2019年5月24日(金)
場 所：草月ホール(東京都港区)
共 催：一般社団法人バードライフ・インターナショナル東京
出演団体：6団体

■第4回大学太鼓フェスティバル

期 日：2019年8月29日(木)
場 所：文京シビックホール 大ホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：19団体

■第34回国民文化祭・にいがた2019「太鼓の祭典」

期 日：2019年10月13日(日)
場 所：上越文化会館(新潟県上越市)
主 催：文化庁、厚生労働省、新潟県、新潟県教育委員会、第34回国民文化祭、
第19回全国障害者・芸術文化祭新潟県実行委員会、上越市、上越市教育委員会、
第34回国民文化祭、第19回全国障害者・芸術文化祭上越市実行委員会、
公益財団法人日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団新潟県支部、新潟県太鼓連盟
出演団体：32団体

■第16回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2019年11月17日(日)
場 所：輪島市文化会館(石川県輪島市)
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、
一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：40団体程度

■第3回浅草太鼓祭

期 日：2019年11月3日(日・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 催：浅草太鼓祭実行委員会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
協 賛：公益財団法人日本太鼓財団
出演団体：20団体程度

■第22回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2020年3月22日(日)
場 所：名古屋国際会議場センチュリーホール(愛知県名古屋市)
主 管：中日本太鼓連合、日本太鼓財団愛知県支部
出場団体：60団体程度

■日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会 & 資格認定事業) 日本太鼓全国講習会

第65回日本太鼓全国講習会 2019年6月29日(土)・30日(日) 岩手県八幡平市
第66回日本太鼓全国講習会 2019年9月21日(土)・22日(日) 岐阜県高山市
第67回日本太鼓全国講習会 2020年2月15日(土)・16日(日) 佐賀県佐賀市

公益財団法人 日本太鼓財団概要

- < 設 立 日 > 1997年11月11日
- < 公益財団移行日 > 2012年4月1日
- < 資 産 > 基本財産 3億円
- < 加盟支部数 > 45支部(41都道府県)
- < 加盟団体数 > 約700団体
- < 会 員 総 数 > 約19,000人
- < 役 員 >
- | | | |
|-------|-------|---------------------------|
| 会 長 | 松本 英昭 | (一社)地方公務員共済組合協議会会長 |
| 副 会 長 | 長谷川 義 | 豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長 |
| 副 会 長 | 高野 右吉 | 高野右吉と秩父社中代表 |
| 理 事 長 | 塩見 和子 | 常 勤 |
| 常務理事 | 大澤 和彦 | 常 勤 |
| 理 事 | 石井 幹子 | (株)石井幹子デザイン事務所代表取締役 |
| 理 事 | 大宅 映子 | 評論家 |
| 理 事 | 島津 久永 | (公財)山階鳥類研究所顧問 |
| 理 事 | 中西 由郎 | 元(公財)日本ゲートボール連合専務理事 |
| 理 事 | 山内 強嗣 | (福)富岳会理事長 |
- < 評 議 員 >
- | | | |
|-------|-------|---------------------------|
| 評 議 員 | 大竹 英雄 | (公財)日本棋院顧問(名誉基聖) |
| 評 議 員 | 岡田 知之 | (公社)日本吹奏楽指導者協会会長 |
| 評 議 員 | 河合 睦夫 | 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長 |
| 評 議 員 | 北村 汎 | 元駐英大使 |
| 評 議 員 | 佐藤 淳子 | (一財)ライフ・プランニング・センター理事 |
| 評 議 員 | 高島 肇久 | (株)海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長 |
| 評 議 員 | 濱田麻記子 | (株)林原チャンネル代表取締役社長 |
| 評 議 員 | 古屋 邦夫 | 御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長 |
| 評 議 員 | 宮崎 義政 | 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長 |
| 評 議 員 | 渡辺 貞夫 | 音楽家 |
- < 監 事 >
- | | | |
|-----|-------|-------------------|
| 監 事 | 長内 健 | 弁護士、長内法律事務所 |
| 監 事 | 竹村 葉子 | 弁護士、三宅・今井・池田法律事務所 |

(敬称略)

今の足跡は未来につながります

日本財団遺贈寄付サポートセンターでは、遺言書により遺産を寄付する「遺贈寄付」に関するだけでなく、人生のしめくくりを安心して迎えるための相談について、専門家と連携して無料でサポートします。



資料請求、お問合せはこちらにご連絡ください。

 **0120-331-531**

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

検索 



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2
Toranomon 1-11-2, Minato-ku, Tokyo 105-0001, Japan
Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378
URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail: info@nippon-taiko.or.jp